

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策として年2回の避難訓練を実施しているが職員のみでの訓練に留まっており、利用者・近隣住民参加の訓練はできていない。	同法人・地域との連携がとれ、確実に安全な避難誘導が実現出来る訓練を行う。	すでに協力の声かけを行い了承していただいている方への次回訓練参加への呼びかけをおこなう。連絡協議会等の場で家族・近隣住民へ避難訓練への参加・協力は得られないか声かけする。	1～8ヶ月
2	33	重度化や終末期への対応について、主治医や関係者から意見を頂きながらスタッフが方針を共有し取り組んでいるが、きちんとしたマニュアルがなく、利用者・家族とホームの意向のずれが生じる可能性がある。	重度化や終末期に向けた方針を共有し、同じ思いで支援に取り組む。	担当者会議を重ねていく中で状態が変化なくても早い段階からもしもの場合を想定して、話し合いの機会を持っていく。ホームでの対応・方針を書面で作成し、職員全員での共有につとめる。	2～3ヶ月
3	4・2	運営推進会議を2ヶ月に1度、法人代表・管理者・家族会代表・南部広域連合職員・地域包括支援センターの職員らの参加で行っているが、利用者・家族・地域住民参加の会議は一度も行えていない。	現在行われている運営推進会議を地域に開かれた会にし、地域とのつながりを広げる。(自治会への参加へ繋げる。)	9月実施の会では現状における問題点・課題について話し合った。今後の取り組みについて民生委員の方・同集落の住民の方・区長さんなどの参加される会を数回でも計画し参加を呼びかける。このような取り組みを進めながら地域への浸透がはかれていけたら自治会への参加も実現したい。	4～6ヶ月